

令和6年度 学校経営計画

富山県立雄峰高等学校

1 学校教育目標

豊かな個性と豊かな心を持ち、生涯にわたって自ら学び考えながら自己実現に努め、社会の変化に対応して逞しく生きる人間の育成を目指す。

2 学校の特徴

- ・ 定時制の課程(昼間単位制・夜間単位制)、通信制の課程、専攻科を備えた定時制通信制の学校である。
- ・ 単位制のシステムを取っており、生徒が自分の将来の進路希望や興味・関心に合わせて学習する科目を選択して「自分の時間割を自分で作る」という弾力的な教育課程を編成している。
- ・ 前期と後期の2学期制で、9月卒業や10月入学も可能である。単位を各学期末に分割認定する科目も設けており、自分の学習計画に基づいて学ぶことができる。
- ・ 県民生涯学習カレッジ富山地区センターを併設しており、社会人と高校生が一緒に学ぶ共学講座を開設している。
- ・ 学習支援部は、個々の生徒の実情や進路希望に応じた学習活動が行えるよう支援している。
- ・ 保健相談部を中心に、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターとともに、生徒が自己効力感を持って、良好な人間関係作りができるよう支援している。
- ・ 自立活動「サポート・スタディ」を通して、個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことができるよう支援している。

3 学校の現状と課題

近年の社会の変化や、生徒の価値観・進路意識の多様化などの状況を踏まえて、本校では魅力ある定時制通信制教育の推進に努めてきた。

不登校経験者や全日制中途退学者も一定数おり、学力や学習意欲、家庭環境等、生徒が抱える課題は多様化・複雑化している。このような生徒が、卒業後社会人として自立し、逞しく生きる力を身につけるため、学校では個々に対応したきめ細かな支援を行っていかなければならない。

本校では、各課程の協力体制の整備と、本校生徒の実態に即した組織的で効果的な指導体制の充実を図ってきた。今後さらに、学習支援部、進路指導部、保健相談部と年次担当等との連携を重視するとともに、本校が持つ学びルームやYUHOルームなどの施設面、通級指導担当教員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの人的面等の強みを生かし、個に応じた学習活動や、社会的自立に向けた能力を身につけるための支援の充実を、日常的に進めていくことが求められている。